



大判プリンター活用で、わかりやすい授業を！

5月31日の上毛新聞に出ていた話題です。(実は、5月30日の群馬テレビニュースでも放送されました。)

群馬銀行が「優良な企業の発掘」と「地域創生」を目的に創設した「地方創生私募債(学校寄付型私募債)」の制度を活用して、群馬ヤクルト販売株式会社様より、本校に「大判プリンター」のご寄付をいただきました。そして、その贈呈式が、5月30日に行われました。という内容です。

どうして群馬ヤクルト販売が本校に寄付するの?という素朴な疑問ですが、実は、昨年度、群馬県教育委員会が行っている「長期社会体験研修」に、本校の加藤義信先生が応募し、1年間、群馬ヤクルト販売で研修を積んでこられたのです。

加藤先生は、人材教育部の研究員として配属され、ヤクルトレディーの方を教育したり、新入社員の方のメンター(相談役)となったりして、人材育成を図るという仕事を行ってきたそうです。群馬ヤクルト販売の企業スローガンは「一人一人が主役!」「チーム力の向上」です。この企業理念や価値観、具体的な方策などをヤクルトレディーの方たちに伝えてきたわけですが、このことを学校の授業にも活かそうと、昨年度、秋に本校の4年生に学級活動の授業を行ってくれました。「一人一人が主役の学級をつくるために、どうしたらよいか」という内容でした。

こうした研修成果をまとめ、昨年度末に群馬県総合教育センターで開催された「ぐんま教育フェスタ」において研究発表を行いました。加藤先生の発表の時には、群馬ヤクルト販売の担当部長さんもお越しくくださり、「わかりやすい、充実した発表でした。」とおっしゃっていました。

このようなご縁があり、今回の大判プリンター寄贈につながったわけです。ぜひこの大判プリンターを活用して、見やすくわかりやすい資料提示などを工夫し、授業改善につなげてほしいと思っています。

ここで一つお願いがあります。実はこの寄付は、20万円が限度額となっています。しかし、大判プリンターは附属するスキャナーなどを含めると20万円以上します。そこで、不足分をPTAの予算から支出していただきたいと思っています。

どうぞ、よろしくをお願いします。

